

授業科目	医療安全	単位数	1 単位	講師名	看護師・看護教員
		時間数	30 時間		
学年	2 学年		履修期	後期	
授業の目標	1. リスク感性を向上させるため、危険予測できる知識と技術を身につけておく必要性について学ぶ 2. ヒヤリハットを振り返り、事実を正確にレビューするための視点を学ぶ 3. 事故分析を行い、ヒューマンエラー、システム、コミュニケーションについて分析する基礎知識を学ぶ				
授業内容 (授業計画)	(20)		(10)		
	1. 医療安全と看護の理念 1) 医療安全の考え方の変化 ①リスボン宣言 ②パターナリズム ③インフォームドコンセント ④インフォームドディシジョン ⑤セカンドオピニオン 2) チーム医療と医療安全 ①チームステップス 3) 安全管理体制 4) インシデントレポートの分析と活用 ①有害事象 ②医療事故・医療過誤・医療紛争 ③アクシデント・インシデント・ヒヤリハット ④過失 ⑤刑事上・民事上・行政上の責任 2. 医療安全への取り組みと医療の質の評価 3. 事故発生のメカニズム 1) 事故発生のメカニズム ①ヒューマンエラー ②人間特性 ③エラーを誘発しやすい環境 2) 事故分析と対策 4. 患者・家族との協同と安全文化の醸成 5. 医療事故後の対応 6. 看護学生の実習と安全 1) KYT 2) 学生が行う看護技術の考え方		1. 看護における医療事故と安全対策 1) 看護業務の特徴的な環境とリスク 2) 多重課題の特徴と対応 3) 医療事故の種類 ①誤薬 ②誤認 ③針刺し ④転倒転落 ⑤誤嚥 ⑥遺物残留 ⑦皮膚障害 ⑧医療機器のトラブル ⑨チューブ類のトラブル ⑩電子カルテ等情報伝達時のトラブル 2. 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 1) 感染 ①スタンダードプリコーション ②職業感染対策 2) 医療機器の使用 3) 医薬品への暴露 4) 労働形態、作業に伴うもの ①シフトワークに伴う生体リズムの乱れ ②腰痛		
評価方法	1. 筆記試験 (80%) 2. 演習評価・課題提出 (20%)				
注意事項	演習はグループワーク形式で行う				
教科書	ナーシンググラフィカ 医療安全 (メディカ出版)				
参考図書	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 (医学書院)				